

H27 アクションプランシート 事業 No.12

①事業の基礎情報

事業名	わかりやすい財政情報提供事業			担当部・グループ名	総務部 財務グループ			
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度			担当 GL 氏名	内田 徹			
新規・継続の別	継続事業			電話番号(内線)	52-1111(内線 305)			
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います			款	2款 総務費		
	こんなことに取り組みます	市民の知りたい、市民に知ってもらいたい財政情報を積極的に提供します。			項	1項 総務管理費		
	みんなで目指すまちづくり	市の財政状況に関心を持っている人の割合			目	9目 財政管理費		
	指標名	現状値 (H25)	69	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	80

②事業の概要

	何を・どうした(内容) ※箇条書きで簡潔に記載してください。	いつ
これまでの取り組み	◆「財政計画(26年度～29年度)」・「長期財政見通し」を公表した。	H26.6
	◆「財政すごろく」や「財政計画」をHPで公表した。	H26.7
	◆「わかりやすい予算書」をベースに財政情報提供内容を検討した。	H27.1～3
	◆広報に(当初予算、借金時計、財政状況、貯金通帳、決算、財務4表)を掲載した。	通年
これまでの取り組みから見てきた課題 ・ 事業の必要性と実施の背景	<p>◇限られた財源の中、行政サービスを着実に実施していくためには、市の財政運営や財政状況を市民の皆さんが理解・判断できるように可視化することが重要である。そのため、「市民の知りたいこと」、「市民に知ってもらいたいこと」を「市民にわかりやすく」情報提供していくことが大切である。</p> <p>◇今まで実施してきた「わかりやすい予算書」、「お金の使いみちをお知らせします」をベースに、財政情報の提供を検討する必要がある。</p>	
目的 (何をどうするために)	★市民のみなさんに市の財政に対する関心を持っていただき、市民と行政が財政情報を共有し、市の財政運営をチェックしていくため。	
対象 (誰・何を対象に)	市民	対象の数量 46,373人
最終目標 (どのような状態を目指すのか最終的に何がどうなれば達成か)	☆市民一人ひとりが持つ一般的な知識で、市の財政状況が理解できる環境が整うことで、市の財政に関心を持っている市民が増加し、市民と行政がともに財政情報を共有し、計画的・効果的な財政運営が行われている。	
備考		

③事業の工程表

事業年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業計画	主体 行政	行政	行政	行政
	実施 わかりやすい予算書等の検討 広報・HPへの掲載 財政計画の公表・検証・見直し及び長期財政見通しの作成・公表	「当初予算の概要」、「決算の概要」(市民向け)を作成 発行 発行 広報・HPへの掲載 長期財政計画の公表	「当初予算の概要」、「決算の概要」(市民向け)を作成 発行 発行 広報・HPへの掲載 長期財政計画の公表	「当初予算の概要」、「決算の概要」(市民向け)を作成 発行 発行 広報・HPへの掲載 長期財政計画の公表

平成 27 年度のアクション（今年度は何をするのか？）※箇条書きで簡潔に記載してください。

いつまでに（期限）	何を・どうする（内容）
H27.5	◆「当初予算の概要」(市民向け)を作成し、発行する。
H27.9	◆長期財政計画を公表する。
H27.11	◆「決算の概要」(市民向け)を作成し、発行する。
H28.3	◆平成 27 年度に提供した財政情報を検証する。
通年	◆広報に「借金時計」等を、HPに「補正予算」等を公表する。

④事業にかかる事業費概要

事業年度		平成 26 年度	平成 27 年度 (当初)	平成 28 年度 (見込)	平成 29 年度 (見込)
事業費総額(千円)		20	20	—	—
財源内訳	一般財源	20	20	—	—
	特定財源				
	国・県支出金	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業	単独事業	単独事業

⑤事業にかかる事業費積算基礎

平成 27 年度	・消耗品費（紙代）20 千円
特記事項 (実施期間を通じて)	